

セ ボ ネ

タガヤ

ランティア

ネットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2018.7 No.171

今月のトピック

特集●

みんなで食べよう 地域を元気にする食卓 ～「子ども食堂」の広がり～

- せたがや災害ボランティアセンターレポート
キラリ世田谷人 ● 渡辺 伊佐雄さん 優子さん



イラストレーション●百日紅

美術とデザインを学びながら、鳥の絵を主に描いています。鳥にまつわる物や事柄にとっても興味があります。
生まれも育ちも世田谷です。

●わたしの世田谷

散歩の途中、名木や老木に出会うことがあります。中でもプラタナスが3本連なる風景に心惹かれました。
昔の記憶を今に伝える樹木が変わらず元気な街並みに癒されます。

みんなで食べよう 地域を元気にする食卓 ～「子ども食堂」の広がり～



ようがこども食堂 facebook より

2017年度版の『食育白書』で、「週の半分以上ひとりで食べている人」が15.3%を占め、比率が上昇したとの調査結果が発表されました。今後とも単身の「孤食」が進む可能性があり、地域で食事を共にする機会づくりが重要だと指摘されています。一方、「子どもの貧困」の問題が注目されるなか、全国で「子ども食堂」をつくる動きが広がりました。世田谷でも2015年頃立ち上げが始まり、本誌では2016年1月号で特集記事に取り上げました。現在、区内では30をこえる団体がさまざまな思いや形態で、「食」の場づくりを運営しています。

お母さんもホツとできる場

北沢5丁目では活動しているのが「北五食堂」。仕掛け人は、小学校のPTAや地元の少年野球チームのつながりから生まれたお母さんたち。「一般社団法人北沢おせつかいクラブ」を立ち上げ、「おでかけひろば ぼっこ」で子育て支援などの活動をしてきました。未就学児も小学生も集まって、子どもに限らず、地域の大人もいっしょにゆるやかなつながりをつくらうと2016年から月1回、北五食堂を始めました。

5月の第3火曜日、取材にうかがうと、エプロン姿のスタッフが10名、大きなお鍋を並べて準備していました。嵐の前の静けさから一転、18時を過ぎると、ご近所の親子たちが続々とやってきました。この日のメニューは牛丼とお味噌汁。北五食堂では、カレーなどシンプルなワンプレートメニューが定番です。広々とした和



たくさんの親子連れで大賑わい。ご近所さんも参加できます。

室があつという間に親子で埋まり、みんなおいしそうにごはんをほおばります。

一番乗りの親子はすっかり顔なじみ、「○○くん、よくきたね」と声をかけられ実家を訪ねるような歓迎をうけていました。「いつも子どもと2人で過ごしているから、こういうところがあると助かります」とお母さんは話します。「今日が初参加」というのは10か月の赤ちゃんを連れのお母さん。2年前、ご主人の転勤で世田谷区に引っ越してきたので近所に

知り合いも少なく、「区の保健師訪問のときに、『おでかけひろば』の情報を見せてもらって、そこで『北五食堂』のことも知りました。初めて来たけど、同じ学年の子とも知り合えていいですね」と話します。ご近所におひとり暮らしの常連さんも、果物の差し入れを持ってやってきました。この日は延べ約80人が参加し、47合も炊いたお釜がからっぽになりました。

「このまちが好き」を育てる

メンバーの遠藤さんと野間口さんにお話をうかがいました。「核家族で近所に祖父母がいない家庭にとって、ここはお母さんたちがちよつとホッとできる場にもなっています。子どもがいてもみんなでワイワイ食べられるし、子どもにとつても、親以外の大人とかかわれる場になっています」と話します。

ひとり暮らしの方や、毎日お父

さんの帰りが遅くて赤ちゃんと2人きりのお母さんなど、孤独な食事をしていく人がきつとたくさんいるよねという想いから、「誰でも自由に入ってわいわい一緒に食べよう」という場を月1回始めました。そうして続けているうちに、本当に必要なとしている人も来てくれたらと思っています。

でも、スタッフもそれぞれ仕事や家庭をもっているので「無理をせず、できるときにできることをしよう」と話しています。活動の継続についても、1年ごとに必要性を見直し、「今年も1年やって



北五食堂のお母さんたち。
写真左が遠藤さん、右が野間口さん。

みよう」と話し合って決めました。食材は地元の八百屋さんやお肉屋さんから仕入れ、お米も地域の人つながりで提供していただいています。「はじめは商店街の一角でやっていましたが、去年から、建て直した町会会館の利用を勧めていただき、使用しています。まちのいろいろな方たちに支えられています」

北五食堂は子どもだけでなく、いろんな世代の人が集まれる場。この日も20代の女性を通りがかりに立ち寄り、『前から気になっていたので、子どもがいないと入れないのかと思ってた』と言って食べて帰ったそうです。ご近所さんや高校生、大学生にも気軽に来してもらい、地域の顔見知りを増やしてもらえたらと願っています。「今来ている子どもたちが小学生になれば子どもだけで来ることもできるようになるし、=楽しかった記憶=って残ると思うんです。『このまちが好き』だから『まち

■北五食堂

毎月第3火曜日 18時～20時 北沢五丁目町会会館
おとな 300円、子ども 100円（未就学児無料）

を大事にしたい」という地元愛を育てられたらと思っています。今は食べに来ている親子たちがいずれ、『あのときああしても良かったから、今度は自分たちが何かしよう』と次の世代につながっていくたらうれしいですね」と話します。「このまちを好きになつてほしい」と、ちよつと「おせっかい」をやく人たちの思いが、地域をゆるやかにつなぎ始めています。

「みんなで食べよう」

毎月第3水曜日の夕方、用賀地区会館では「ようがこども食堂」がひらかれています。おそろいの黄色いTシャツを着たスタッフ、小学生から大学生、社会人、シニアまでたくさんさんのボランティアがかかわっています。学校帰りの高校生も続々とやってきて、若い力が大活躍していました。この日は5月にちなんで、「こいのぼり」メニュー。型を使ってごはんの上

にそぼろとたまごを盛り付けます。小学生もエプロンをしてハムを型抜き、こいのぼりの目の部分を楽しそうにお手伝いしていました。代表の瀬尾明子さんは栄養士と調理師の免許を持っていて、手づくりにごだわつて食育を大切にしています。

そして、ようがこども食堂も「みんなのでいっしょに食べよう」と広

一赤い看板が目印

「こいのぼり」の形をしたそぼろごはん。食の重みを感じたいと陶器の食器を使っている。



く呼びかけています。「お金があってもなくても、みんな同じように悩みがあるし、だれでも同じように「話ができる場」があつたら、もつとみんなが楽になるんじゃないか」という想いからです。

ボランティアに初めて参加する人には、同じ方向を向いて活動するために必ず1時間オリエンテーションをしています。「してあげる」という姿勢にならないように、まず「自分が楽しむこと」が大事な約束。ボランティアは約30人。どの世代もみんなとても楽しそうに活動していました。

「おたがいさま」で支えあう

人が人を呼び、毎回約200食もの食事を提供しているといううから驚きです。広いスペースで活動できるようになつたので、食べる部屋と遊べる部屋、お母さんたちがゆっくり話せる部屋もありま

■ようがこども食堂

毎月第3水曜日 15時半～19時 用賀地区会館
おとな300円(高校生以上)、子ども0円(中学生以下)

だったわけではなく、ここまで長い道のりでした。瀬尾さんは整骨院の仕事を通じて、地域に子どもが集って話せる場がないこと、食生活が乏しい子どもたちが身近にいることに気づき、地域で何かできないかなと思っていたところ、テレビで子ども食堂のことを知り、「自分でもやりたい」と思い立ちました。お金も場も何もないところからのスタート。いろいろな人に説明をして、仲間を集め、場を探し、食材を提供してくれる人を探し、みんなの協力があった2016年に立ち上げました。

最初の1年間はレンタルルームを借りて、自腹で会場費を負担していました。これでは続かないと、クラウドファンディングに挑戦。設定2カ月のところ、20日で目標額に達成しました。会場についても折衝を重ねて今の場所を借りられるようになり、3年目にしてようやく落ち着いて活動できるようになってきました。人のつな



写真右が瀬尾さん。
朝9時から仕込みを始める。

がりて企業にスポンサーになってもらい、お米の寄付をいただいたりして活動を続けています。

そして「全国の子ども食堂をなくしたい」と言い切る瀬尾さん。「私が小さい頃は、ご近所さん同士で『今日はウチで食べていきなさい』と行き来したり、『子ども食堂』の代わりをしていたし、日常的に会っていればちよつと気にかけたりしていました。でも今はインターネットがあれば生活できる社会になって、周りと接しなくても生活できてしまう。なんでもひとりで抱えて悩むのではなく、「もつと人に頼っていいんだよ」ということを伝えていきたい。寄

り集まってお互いに支えあい、わざわざ子ども食堂をつくらなくても地域で支え合える、そういう世の中にしていきたいと思つています」と語りました。

みんなで支える「子ども食堂」

地域に広がる子ども食堂は、「関係性の貧困」に一石を投じているのかもしれない。こうした地域の食堂の多くはボランティアの力に支えられています。ボランティアとして参加する、お金で支援する、食材を提供する、さまざまな力が必要とされています。「子ども食堂ネットワーク」のホームページでは、「子ども食堂を手伝いたい人」にむけてそれぞれの子ども食堂がどんな応援を必要としているか、情報をみることでできます。自分にできることで応援してみませんか。

(取材／編集委員 鈴木朋子、

事務局 宮崎紘子)

せたがや災害ボランティアセンターレポート

日本各地で起きたこれまでの大規模災害でも、災害ボランティアは被災地復興のために欠かせない、とても大切な存在でした。

「大規模災害が起きた時に、全国から集まる災害ボランティアを受入れ、被災者となった方たちの要望（ニーズ）とマッチングする人」のことです。

「災害ボランティア マッチング コーディネーター」

って何？



●世田谷区ではどうしているの？
世田谷が被災した場合に備えてコーディネーターを育てておく必要があります。現在、ボランティア受入れ体制を整え、コーディネーターの養成を行っています。

●どうやって養成するの？
年間を通じて養成講座を行っています。「マッチングコーディネーター養成基礎講座」を受講すると、災害ボランティアマッチングの仕組みや、災害時のボランティアの重要性や受け入れる側の心構えなどを学ぶことができます。

●基礎講座を受けた後は？

基礎講座を受講された方を対象に、避難所や要配慮者について学ぶ機会としてスキルアップ講座も開催しています。

●今後の講座の予定は？

- ・国士舘大学 9月15日
 - ・梅丘パークホール 9月29日
 - ・日本女子体育大学 11月10日
 - ・日本大学商学部 11月24日
 - ・日本体育大学 2019年2月
(いずれも土曜日の午後開催)
- どなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。



「松原憩いの家」で家庭的な生活を

渡辺 伊佐雄さん 優子さん
わたなべ いさお ゆうこ

や
せた人が
キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介しします
取材●星野 弥生

4月、閑静な住宅地に、子どもたちが生活を共にする自立援助ホーム「憩いの家」の4番目の拠点として、世田谷区で初の法人型ファミリーホーム(※)『松原憩いの家』がオープンしました。

渡辺さんご夫妻は北海道家庭学校(児童自立支援施設)で長年子どもたちの自立支援に携わっていましたが、6年前にご両親の住む東京に戻ってきました。そして古くから縁のあった「憩いの家」から「東京に来るなら手伝って」と声がかかりました。一方、ゆくゆくはファミリーホームをやりたいと思っていた渡辺さんは世田谷で

※「ファミリーホーム」…児童養護施設、里親制度と並ぶ新しい児童養護のかたちとして2009年4月に制度化された。親となる養育者を3人以上置いて、家庭的養護を行う。一般の住宅で開設できる。

子どもたちと住む物件探しをするも、苦戦していました。そこに世田谷トラストまちづくりの「空き家等地域貢献活用

事業」から話があり、渡辺さんは「ちゃんとしたプレゼンもできないまま、お茶を飲んで話していただけ」と謙遜しますが、社会的養護の必要な子どもたちの支援のために空き家を活用したいと希望するオーナーさんに共感していただき、マッチングが成立。「なるべくそのまま使ってほしい」という大家さんの思いと、家の素敵な間取りに惚れ込んだ渡辺さん夫妻がめでたく縁組となりました。

現在は高校生3名を受け入れています。傍目には不自由ないと思われる家庭の中で、実は暴力を受け続けてきた子どもたちが、今よ

うやく「憩いの家」で「幸せな時」を過ごしています。

「どこで何が起きてもおかしくない。貧困だけが問題なのではなく、それも含めた暮らし方の問題」と渡辺さん。ここでは教育的なこととは一切せずに「ふつうの生活」を大切にします。「渡辺さん、怒りますか？」と開口一番訊いた子どもも、温かいおにぎりを差し出す渡辺夫妻の笑顔に、心を開いていきました。この家にはお孫さんもよく訪ねてきて、子どもたちとも仲良くなり「チームの一員みたい」と優子さん。

6月から月1回、ホームのリビングを地域の「子ども食堂」に提供しています。地域の人たちが気軽に出入りできる「サロン」も計画中です。「ひとつ屋根の下で子どもたちと一緒に暮らす」というこれまで大切にしてきた渡辺さんの思いが世田谷の地で叶い、どんどん膨らんでいきます。

■憩いの家(社会福祉法人青少年と共に歩む会)

URL <http://ikoi-setagaya.jp/>

*沿線別にイベントやボランティア
情報を入れていきます。
詳細はP10～15をご覧ください。

第39回がやがやなまつり
7/21(土) 15時50分～19時半
会場：都立光明学園
がやがやなまつり実行委員会 P15

ライブラリー入門講座
7/21(土) 13時～15時
世田谷ボランティアビューロー
ライブラリー協会 P13

ボランティアマッチング
リーダー養成講座
7/21(土) 13時半～16時半
世田谷大学
世田谷ボランティアセンター P15

・介護のおしごとフェア in せたがや
7/16(月祝) 10時～16時
会場：三茶しゃれなあどホール
「介護のおしごとフェア」事務局 P13

ナツボラ・ジュニア
～小学生のボランティア体験～
6/30(土) 11時～申込み受付開始
梅丘・代田・玉川の各ボランティアビューロー
P15

●小田急線沿線

- ☆通院の同行をしてくださる方募集 詳細 P11
- ☆80代女性のスポーツ教室での見守り募集 詳細 P12

せたがやチャイルドライン
受け手養成公開講座
5/25～7/27 全9回
世田谷ボランティアセンター P14

おつかれさま食堂
7/13(金) 19時半～21時半(月1回)
世田谷ボランティアセンター P14

ナツボラ ～夏のボランティア体験～
7/1・8(日) 11時～申込み受付開始
※申込み予備日 7/21, 26, 8/2
世田谷ボランティアセンター P15

おたが
さいが
さMAP
AP

OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

●京王線沿線

- ☆アナログゲームで一緒に遊んでくださる方募集 詳細 P11
- ☆福祉移動支援センター有償スタッフ募集 詳細 P12

●世田谷線沿線

- ☆中1女子の登校付き添いボランティア募集 詳細 P10

●東急線沿線

- ☆フールの付き添いボランティア募集 詳細 P10
- ☆シニア向けのスマホ指導ボランティア募集 詳細 P10
- ☆家事をサポートしてくださる方募集 詳細 P11
- ☆料理を一緒にしてくださる方募集 詳細 P11
- ☆ポッチャを初心者に教えてくださる方募集 詳細 P11
- ☆トイレ介助ボランティア募集 詳細 P11
- ☆簡単な作業を手伝ってくださる方募集 詳細 P12
- ☆デイサービスでの配膳・下膳スタッフ募集 (有償) 詳細 P13
- ☆60代女性の部屋の片づけを手伝ってくれる方 (有償) 詳細 P13

- 京 京王線沿線
- 小 小田急線沿線
- 世 世田谷線沿線
- 東 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。
他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいあります。後に続く情報をマップにおとしたり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがでしょうか。
★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安に是非ご利用ください。

第7
か
ヒューマン
7/14 (土)
会場: 梅丘
東京ヒューマ

ちとせ
ふなほし
災害ボラン
コーディネ
9/15 (土)
国土館
せたがや災害ホ

福祉
「福祉
東

玉川ボラ
ビューロ

ご相談ください

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障がいや学習障がいの傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合つことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小・中学生の個別の学習支援に取り組み、ボランティアの紹介を行っています。

勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。必要な方がいらしたら、お気軽にご相談ください。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木・青木
TEL 5712・51001
suzuki@otagaisama.or.jp

ボランティア求む

東 プールの付き添いボランティア募集

小学校の普通学級に通っている4年生の女の子が、学校のプールで付き添ってくれる女性を探しています。知的障がいがあり、着替えるの手伝いとプール内での付き添いが必要です。プールが大好きな明るい女の子です。一緒にプールを楽しんでくれる方、お待ちしています。詳細はお問合せください。

●日時/6月20日～9月中旬までの水曜、1・2時間目(8時半～10時半) ※回数は応相談
●場所/玉川地域の小学校
●募集人数/1～2名
●条件/交通費支給。ボランティア保険加入費用支給。女性限定
●問合せ/玉川ボランティアビュー一口
TEL 3707・32228
tamabor@otagaisama.or.jp

東 シニア向けのスマホ指導ボランティア募集

シニアのためのパソコン教室を開設して15年のボランティアグループです。今まではパソコン講師が中心で活動してきました。まったく初心者の方にも、繰り返しやさしくスマホの使い方を指導してくださる方を募集しています。ボランティアですが、交通費程度の御礼をお支払いします。スマホはアンドロイドでもiPhoneどちらかでも構いません。

●日時/火曜日、金曜日 15時～17時(14時半集合)

世 中1女子の登校付き添いボランティア募集

中学校1年生女子の、登校の付き添いをして下さる女性を求めています。朝、自宅に迎えに来ていただき、世田谷線山下駅から電車に乗り、下高井戸駅から学校までの付き添いをお願いします。

学校に行くことが大好きな女の子です。電車での移動等に関し、サポートをお願いします。子どもが好んで理解がある女性のボランティアを募集しています。

●場所/キャロットタワー3階 市民活動支援コーナー(会場の都合により二子玉川で活動することもあります)
●交通/三軒茶屋駅
●募集人数/1～2名
●条件/スマホを教えるのが好きな50～70代の方、世田谷区在住の方。交通費程度支給
●問合せ/世田谷なかしパソコン090・5304・6151
zzyntot@gmail.com

●日時/火曜、木曜 週1～2回でも助かります。
朝7時40分頃～(1回50分程度)
●交通/山下駅～下高井戸駅
●条件/女性。交通費(世田谷線運賃)は依頼者が負担します。
●問合せ/梅丘ボランティアビュー一口
TEL 3420・2520
umebora@otagaisama.or.jp

東 家事をサポートして下さる方募集

玉川地域にお住いの50代の女性
が、目の治療と怪我のため動くこ
とが困難で日常生活に困っていま
す。月に2回〜週1回程度、自宅
の掃除や洗濯、食事作りのサポー
トをして下さる方を求めています
。詳しくはお問い合わせくださ
い。

- 日時/平日で応相談
- 交通/東急東横線沿線。駅から
徒歩10分程度
- 条件/60代までの女性

●問合せ/世田谷ボランティアセ
ンター 担当 青木
TEL 5712・5101
aoki@otagaisama.or.jp

東 料理を一緒にして下さる方募集

世田谷地域にお住いの60代の女
性が、料理を教えてくださいませ
ん方を求めています。ご自身で家事をや
ってきた経験がなく、一緒に料理
をしながらやり方を教えてください
下さる方を求めています。詳しくは
お問い合わせください。

- 日時/火水木土日の午後で相談
- 場所/自宅
- 交通/世田谷線上町駅徒歩5分
- 募集人数/1名
- 条件/50代〜70代の女性

●問合せ/世田谷ボランティアセ
ンター 担当 青木
TEL 5712・5101

京 アナログゲームで一緒に遊んで下さる方を募集

世田谷さくら会で開催している
「アナログゲームルーム」で障害
者の人達と一緒に遊んで下さり
ゲーム(トランプ、UNO、オセ
ロ、麻雀等など)の進行をして下
さる方を募集しています。

●日時/毎月第3火曜日、12時半
頃〜15時半頃

- 場所/世田谷さくら会 3階
- 交通/千歳烏山駅徒歩5分
- 募集人数/1名

●条件/精神疾患のある人に理解
のある方、交通費支給
●問合せ/特定非営利活動法人
世田谷さくら会 担当 丸山
TEL 3308・1679

東 ボッチャを初心者に教えて下さる方、探しています!

池尻、三宿地域で年齢や障害を
問わず、スポーツを通して交流で
きる会をやるうと思っています。
高齢者でも子どもでもできるスポ
ーツのひとつとして、「ボッチャ」
を体験したいと思っています。
ご協力いただける方、興味のある
方、ご連絡お待ちしております!

●日時/活動は月1回の予定です

(日時ご相談)
●場所/池尻3丁目公園
●交通/池尻大橋駅徒歩10分程度
●条件/ボッチャの道具も提供し
ていただけるとうれがたいです。
●問合せ/池尻あんしんすこやか
センター 担当 河野、佐藤
TEL 5433・2512
i_kansuko@abox3.sor-net.jp

小 病院の同行をして下さる方募集

精神疾患を抱える女性が毎月第
4水曜日の午後、小田急線成城
学園前駅からJR山手線目白駅の
近くにある病院まで行って帰って
くるまでの間、同行して下さる
方を探しています。ご本人の意向
をくみながら、支えて下さる方
を希望しています。

●日時/第4水曜日午後
●場所/成城学園前駅〜JR山手
線目白駅〜病院
●条件/女性、交通費支給
●問合せ/世田谷ボランティアセ
ンター 担当 鈴木
TEL 5712・5101
suzuki@otagaisama.or.jp

東 トイレ介助ボランティア募集

二子玉川にある会社に勤務する
車イスの20代男性が、昼休みのト
イレ介助(パッド交換)のボラン
ティアを探しています。複数でサ
ポートしていますが、火曜を担当
していただける方を求めています
。介助経験のない方も、まずは
お問い合わせください。

●日時/火曜 12時40分〜13時
●場所/二子玉川駅徒歩2分
●募集人数/1〜2人
●条件/年齢・性別・資格不問。
交通費応相談
●問合せ/玉川ボランティアピ
ューク
TEL 3707・3528

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

東 簡単な作業を手伝って下さるボランティアさん募集

岡本福祉作業ホームでは障害のある方が力を合わせて仕事をしています。仕事の中には利用者の方には難しい工程もありますが、少しのお手伝いで『できる!』ことが拡がります。ご都合の良い日の短い時間でもお手伝いいただけたら嬉しいですよ。

●作業内容/封筒の作成、ハサミでペーパーナプキンの絵柄を切り抜く作業、コーヒー販売のお手伝い、布を切ったり、ミシンで直線縫いする作業(ポプリを入れる袋・エコバッグ等)など

小中学生の学習支援

小・中学生の学習支援をしてくださる大学生ボランティアを募集しています。子どもが持つて来た学校の宿題やわからないところを理解出来るようにサポートし、学習の悩み解決に向けて一緒に取り組みます。またトランプをして遊んだり、おしゃべりしたり、月1回は食事会も行います。

●日時/毎週火曜日〜金曜日のうち週1回 17時〜20時(但し、祝日等休みあり)

●日時/月〜金曜日、9時半〜15時半の間でご都合の良い時間 ※月〜2回程度、土日の販売会やイベント時のボランティアも募集しています。

●場所/岡本福祉作業ホーム(岡本2-33-24)
●交通/二子玉川駅または成城学園前駅からバス「岡本三丁目」下車徒歩5分

●問合せ/世田谷区立岡本福祉作業ホーム
TEL 3415・3366
okamoto@zunika.jp

学生ボランティア募集

●場所/世田谷区内5ヶ所(三軒茶屋・経堂・深沢・成城学園・上北沢) 曜日ごとに会場が異なります。

●条件/子どもへの学習支援に興味のある大学生。交通費相当額として1回1500円を支給。
●問合せ/世田谷区生活困窮者自立相談支援センター ぶらっとホーム世田谷
TEL 5431・5355
plat@setagayashakyoo.or.jp

小 80代女性のスポーツ教室での見守り募集

梅丘にあるスポーツ施設の利用時の見守りをして下さる方を求めています。女性はこの施設に長い間通っていて、通うことが習慣になっており、身体を動かして筋力を鍛えることをずっと続けたいと希望しています。歩行に不安はありませんが、認知症のため発言に事実に違うことが混ざる可能性があります。認知症にある程度理解

があり、発言に対して否定せずに対応していただける方を希望します。

●日時/週1回から2回(35分)
●場所/梅ヶ丘駅周辺
●募集人数/1〜2名
●条件/女性希望。交通費応相談
●問合せ/梅丘ボランティアビューロー

TEL 3420・2520

有償スタッフ募集

京 世田谷区福祉移動支援センター有償スタッフ募集

世田谷区福祉移動支援センター(通称そとで)では、世田谷区内の高齢者や車いす利用者のおでかけを支援するスタッフを募集します。

のつく曜日・時間。土日のイベントにもご協力頂ければ歓迎です。

区内の移動困難な方々やご家族、ケアマネさん達からの依頼や相談で通院などに利用する区内の介護タクシーや移送NPO事業者に配車依頼したり、外出の相談に応じる仕事です。担い手を育成する講習会やおでかけイベントの開催なども行います。

●日時/平日9時〜17時半の都合

●場所/世田谷区福祉移動支援センター(八幡山1-7-6)
●交通/千歳船橋駅からバス希望が丘行き終点、経堂駅からバス希望が丘行き八幡山下車
●募集人数/2名
●条件/時給1000円
●問合せ/世田谷区福祉移動支援センター(そとで)
担当 鬼塚
TEL 5316・6621

東

デイサービスでの配膳、下膳スタッフ募集

（上用賃6,191円）
 デイサービスの利用者さんにお

出しする昼食の配膳と下膳（食器洗浄）のスタッフを募集しています。どなたにでもできる簡単な作業です。慣れたら曜日を増やすこともできます。詳しくは直接ご連絡ください。

- 日時/火曜、土曜11時半～15時
- 場所/ふきのとうデイホーム

- 交通/バス成城学園前→渋谷「宇山」下車、徒歩5分
- 条件/食事に関心のある方。時給等、詳細はお問合せください。
- 問合せ/ふきのとうデイホーム担当 高野
- TEL 54269-36025
- http://fukinotomow.jp

東

60代女性の部屋の片づけを手伝ってくれる方募集

用賃2丁目にお住まいの60代の女性が、引越しに向けて部屋の片づけを手伝ってくれる人を探しています。

足が不自由なので、しゃがんだり、高いところに手をのぼすことができません。引越しの前に少しずつ荷物の整理をしたいため、押し入れの荷物や、流しの下のお鍋などを出して、一緒に荷物の整理を手伝ってほしいと思っています。片付けが好きで、テキパキとした女性のお問合せをお待ちしています。

- 日時/月・水・金・土・日のいずれかの曜日で隔週（月2回程度。13時～18時の間で2時間。詳細は応相談）
- 場所/用賃2丁目の自宅
- 条件/女性。時給1000円/交通費別途支給。上限あり）
- 区の緊急介護人派遣制度への登録をお願いします。
- 問合せ/玉川ボランティアビューロー
- TEL 3707-3528
- tamabotora@otagaيسانar.jp

講座・その他・募集

東

福祉・介護のおしごとフェアinせたがや

世田谷の特別養護老人ホーム23施設が集まる「福祉・介護のおしごとフェア」、現役職員の話を聞くことができます。会場に直接お越し下さい。

- 日時/7月16日（月祝）10時～16時（予約不要）
- 場所/三茶しゃやねあとホール
- 交通/三軒茶屋駅徒歩2分

- 内容/介護口ロボット体験、相談コーナー、11時半～基調講演、12時半～座談会「若手職員と特養施設長が語る『介護の魅力』」、13時半～施設別合同面接会
- 問合せ/「福祉・介護のおしごとフェア」事務局（特別養護老人ホーム博水の郷）
- TEL 5491-0340

小心のバリアを溶かす「ヒューマンライブラリー入門講座」

ヒューマンライブラリーは、デモンマクで始まったもので、障がい者、ホームレス、セクシャルマイノリティなど、誤解や偏見を受けやすい人々が「本」になり、一般「読者」と対話をします。詳しく知りたい方、体験してみたい方、開催してみたい方などを対象に入門講座を開催します。

入門講座では、ヒューマンライブラリーとは何か、開催事例の紹介、疑似体験、参加の仕方などを説明します。ご不明の点は電話でお尋ねください。

- 日時/7月14日（土）13時～15時
- 場所/梅丘ボランティアビューロー
- 交通/梅ヶ丘駅徒歩8分
- 募集人数/15名まで
- 参加費/500円（資料代）
- 申込み/メールでお申込みください（氏名・所属・年齢明記。事前予約制）
- 問合せ/東京ヒューマンライブラリー協会 担当 坪井
- 090-4751-6942
- tsubojo17@gmail.com

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

講座・その他・募集

東 おつかれさま食堂

仕事や人間関係につかれて、生き辛くてしんどいなあと思ったり、自分がひとりぼっちに思えてつらかったりさみしさや生きづらさに悩んだり…

月に一度、金曜日の夜にそんなきもちを安心して話せる食堂を開いています。おしゃべりしたり、ゆつくり食べたり、おなかを満たす気ままなカレータイムとふだんなかなか話せないでいる、それぞれの「おつかれさま」を報告し合うお話タイムの2部構成です。

お仕事帰りの「おつかれさま」なあなたをお待ちしています。

●日時／7月13日(金) 19時半～21時半

●場所／世田谷ボランティアセンター 会議室

●参加費／1000円

●申込み／電話またはメールで

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木・青木

TEL 5712・5101
suzuki@tagaisana.or.jp

東 NPO・市民活動相談「活用ください」

ボランティアグループ・任意団体の立ち上げや運営に関する相談のほか、NPO法人の設立も含めたNPO・市民活動に関する基礎的な個別相談に応じています。

これまでに、NPO法人設立のながれや、助成金の情報、広報手段に関することなどのご相談が多くありました。

すでに活動している方も、これから何か始めたい方も、個人、団体問わず相談可能です。まずは電話でお問い合わせください。

(相談無料・事前予約制)

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎

TEL 5712・5101

東 チャイルドライン公開講座2018

18才までの子どものための電話「チャイルドライン」の受け手を養成する研修の一環です。子どもと直接かかわってきた講師による講義やワークをします。希望回のみでもご参加いただけます。

●日時・講師／
*7月7日(土) 15時～17時半

講義「子どもが置かれている現状と関係機関の役割」和田芳子

*7月13日(金) 19時～21時半
講義「いじめと不登校」経

験者の立場から」須永祐慈
*7月27日(金) 19時～21時半

フリーダイヤルキャンペーン 寄付のお願い

せたがやチャイルドラインでは2012年から、子どもたちがいじめなどの悩みを抱えやすい夏休み明けにフリーダイヤルキャンペーンを実施してきました。今年も9月1日～7日の一週間、キャンペーンを実施します。

子どもからの電話にこたえるのは、研修を受けたボランティアですが、子どもへの広報やフリーダイヤルの増設には費用がかかり、みなさん

のご寄付が大きな支えとなりま

ワーク「より良いコミュニケーションをめざして」コミュニケーションの体験」山本多賀子

●場所／世田谷ボランティアセンター
●交通／三軒茶屋駅徒歩12分
●参加費／1講座2000円
(学生半額、別途テキスト代1000円)

●申込み／メールまたは電話
●問合せ／せたがやチャイルドライン事務局
TEL 5712・5101

●寄付振込先 郵便振替
00150・8・279963
加入者名 「社会福祉法人世田谷ボランティア協会」
1口1000円から
●問合せ せたがやチャイルドライン事務局
TEL 5712・5101

小

第39回「がやがやなつまつり」

ここに集まったみんなが、このなつまつりでともに遊び、楽しんで、知り合って、これからも仲良くこの町で暮らしていけるように梅丘にある「都立光明学園」を会場にしたこの夏まつりも、39回目を迎えます。ゲームやステージ、模擬店も出ます。光明の在校生・卒業生だけでなく、近隣の小中学校や地域の方も、どうぞ遊びに来

てください。

- 日時／7月21日（土）15時50分～19時半 模擬店販売は15時半～
- 場所／都立光明学園（松原6・38・27）
- 交通／梅ヶ丘駅徒歩2分
- 問合せ／がやがやなつまつり実行委員会
TEL 33233・8421

世小

災害ボランティア マッチングコーディネート

災害時に被災者と災害ボランティアのニーズをつなぎ、より良く支援活動が行われるように調整するスタッフを「災害ボランティアマッチングコーディネーター」といいます。その養成講座を開催いたします。大勢の方の受講をお待ちしております。

- 講座受講後、「マッチングコーディネーター」への登録もお願いします（希望者のみ）。
- 日時／9月15日（土）13時半～16時半
- 会場／国士館大学
- 交通／梅ヶ丘駅徒歩9分

養成講座

- 参加費／無料（要申込）
- 申込み／お電話かメールでお申込みください。メールの場合、件名を「災害VMC講座申込み」として、氏名・住所・電話番号（あれば所属）をご記入ください。
- 主催／世田谷ボランティア協会 世田谷区
- 問合せ／せたがや災害ボランティアセンター
TEL 5712・5101
sagai@otagaisana.or.jp
（火～金曜 10時～22時、土日20時まで。月曜・祝日休館）

ナツボラ・ジュニア

参加者募集

小学生向けの夏休みボランティア1日体験プログラムです。体験を通じて支えあいの心や、生きる力が育まれることをめざしています。ご飯をいっしょにつくったり、交流したり、今年は全部で26プログラム。ぜひご参加ください。

- 対象／区内在住・在学の小中学生（一部、保護者の参加可）
- 申込み／6月30日から受付開始
- 申し込み。ボランティアデビュー！
- 参加費／1名500円
- 体験期間／7月21日（土）～8月31日（金）
- 受付・問合せ／各ボランティアビューローへ（月曜 祝日休館）
TELは16ページのとおりに
https://www.otagaisana.or.jp

夏のボランティア体験「ナツボラ2018」

夏のボランティア体験プログラム「ナツボラ2018」、初めてのボランティアを応援します。詳しくはホームページをご覧ください。

- 対象／区内在住・在学・在勤の中学生～30歳くらいまでの方
- 申込受付日／7月1日、8日（日）11時～13時半（予約不要）
- 必ず本人が来所、代理申込み不可。先着順。
- 申込準備日／7月21日（土）、26日（木）8月2日（木）
- オリエンテーション／申込日同日の14時半～17時
- 受付会場／世田谷ボランティアセンター 2階
- 参加費／1200円（別途ボランティア保険代3000円）
- 体験期間／7月20日（金）～8月31日（金）の間で3日程
- 体験内容／保育園、プレーパーク、高齢者施設、障がい者施設、NPO団体など、80か所以上のメニューからお選びください。
- ※体験プログラム等詳細はホームページで公開しています。
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL 5712・5101
https://www.otagaisana.or.jp

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビルM1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビル2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビル2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った!」を話せる場所●

- 世田谷地域障害者相談支援センター 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビル2F TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

夏のボランティア体験「ナツボラ」&「ナツボラジュニア」が始まります! いろいろな人に出会い、交流することで、「自分も成長できるいい機会になった」と昨年の参加者の感想。ぜひご参加ください。

◆ふらっと&withより

杖や車椅子を使っている人にとって雨の日はレインコートが大活躍です。カラフルでオシャレなレインコートが増えましたね。梅雨明けを待ちながら、雨にも負けずお出かけを楽しんでいます。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

開講中の「受け手養成公開講座」は子どものきもちに寄り添うヒントがいっぱい。7/13(金) 須永祐慈さん(NPO法人ストップいじめ!ナビ)の講義「いじめと不登校~経験者の立場から」もお聞き逃しなく。単発でも参加できます。

編集後記

■「子ども食堂」が、人と人がつながる地域の居場所となっていることを今回の取材を通じて改めて感じました。お近くにお住まいの方は、ぜひ訪ねてみてください。

■ボランティアセンターには幅広い年代の方からのご相談があります。先日は90代の方から、ご経験を生かして地域でできることはないかと問合せがありました。子どもの目線に寄りそったお考えと、いくつになっても新しい事を始められようとする姿に心動かされました。(み)

●発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811

●E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
●ホームページ
<http://www.otagaisama.or.jp/>
●発行人
横山 康博

